

家庭数

令和6年6月号

給食だより 6月

さいたま市立西浦和小学校
給食室

おいしいお米を届けたい

大切なのは「見守ること」 西区在家

地域で収穫された農作物を地域で消費する【地産地消】が注目され、学校給食でも取り組んでいます。一昨年度から米の仕入れ先としてご協力いただいている「原田農園」の原田充敏さんにお話を伺いました。



畑データ

- ◆ 西区在家
- ◆ 近隣には桜区・大久保浄水場、西区・さいたま市民医療センターがある
- ◆ 荒川の堤防の内側と外側に複数の田んぼがある
- ◆ 米の栽培期間以外にも土壌の整備等、きめ細やかな気遣いが必要
- ◆ 米の品種はコシヒカリ



五月四日晴天、「まさに田植え日和だね。」と原田さん。大切に育てた苗を田植え機で丁寧に植えていく。

米の栽培で一番大切なことは何ですか。原田さん見守ること。常に米の様子を観察すること。今の時期なら、暑くはないか、寒くないか、水は足りているか、土の状態はどうか、七、八月は稲が穂を出している。鳥や虫がつかないか、米作りは、今日植えた苗は、赤い。観察を続けている。常に観察を

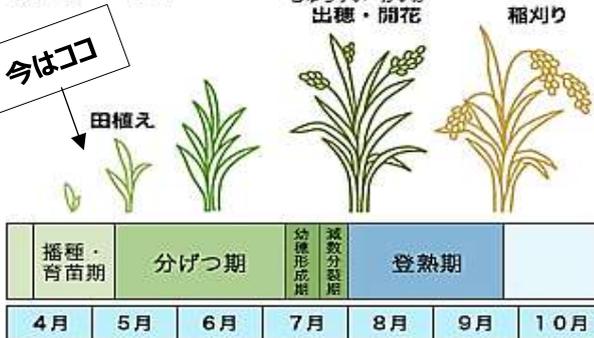
西浦和の皆さんにメッセージを
原田さん
お米なので大切に育ててほしい。是非味わって食べてほしい。また、残さず



原田充敏さん(右)と、弟の山下昌和さん(左)

西区で長年、米の栽培に携わっている。収穫した米は近隣のJA直売所、市内の小中学校に出荷・納品している。

稲の一生



資料：JA全農宮城より

種を蒔いたら、三十日程で田植えの五日程前に「代掻き(しろかき・トラクターなどで土を耕し、田んぼに水を入れ均平にすること)」を行う。